

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年4月13日(水) 19:00~20:35
開催場所	松本市役所 大会議室
出席議員	青木 崇 若林真一 川久保文良 吉村幸代 上條美智子 村上幸雄 上條 温 小林あや 上條俊道 犬飼信雄 澤田佐久子 忠地義光 芝山 稔 南山国彦 草間錦也 大久保真一
参加人数	25名
報告に対する質疑	なし
意見交換	<p><b>Q:</b>「松本城を活かしたまちづくり」として、お堀の復元に向けて用地買収が進むが、工事が始まるとトイレを撤去しなければならないと聞いた。外国人観光客も増えている。整備計画があってイメージプランは出されているが、物販施設の用地取得予定はないという。周囲に広い用地を確保し、「道の駅」のような地元の物産交流センターをつくってはどうか。中で飲食ができてトイレがあり、管理事務所も入って、観光バス乗降の拠点としても活用できる。中心市街地の「顔」であり、核となる建物だ。大きな予算と強いリーダーシップやネットワークが必要となるから、市議会にはプロジェクトチームを立ち上げて、理事者を促すような取り組みをしてほしい。「音楽を活かしたまちづくり」としては、例えば、鈴木慎一記念館のような素晴らしい市有財産を活用した方が良い。所蔵するアインシュタインの自画像などを表に出し、英語で発信したり、グッズ販売などもしてはどうか。市議会は提案型であってほしい。</p> <p><b>A1:</b>年間約80万人の観光客が松本城を訪れ、うち10~12万人が外国人である。「松本城を中心としたまちづくり」という施策が進められているが、「イメージ・夢」に則った「顔」づくりをしていく必要がある。一方で、三の丸には多くの住人と土地所有者がおられる。双方を融合させ、お堀の整備、内環状北線、博物館の移転・新築、周辺および市全体の活性化などについて、これからはっきりと議論して、観光客、住人、さらには移住者にとっても良いことを、トータルで考えていかなければならない。地域の方々の意見をしっかりと聞いて対応していく。</p> <p><b>A2:</b>松本城南西外堀復元事業と内環状北線整備事業を一体的に進めて、松本城を中心とした歴史的風致地区の維持・向上をはかるという基本方針に則って進めている。南西外堀復元事業は昭和52年から始まったが、用地買収をどう先行しながら進めていくか。内環状北線整備事業は、昭和35年に都市計画決定されて、ようやく全体像が見えてきたところ。国からの史跡等購入費補助金約1億8,400万円、市債から南西外堀復元事業充当債4,380万円、松本城特別会計繰入金238万円などを充当してきた。物産センターは良い提案だと思うが、時間がかかるので、市に提案しながらやっていきたい。</p> <p><b>A3:</b>提案型議会については、松本市議会も市政の重要課題に関して特別委員会を立ち上げて対応している。このたびの市長選を経て、報道などから察するに、市庁舎の建設、博物館の移転・新築を含めた松本城周辺の整備、市民病院の建設などについては、議会として特別委員会を立ち上げて対応し</p>

	<p>ていくこととなろう。市民の皆様の声を市政に反映する努力をしていきたい。</p> <p><b>Q:</b>「絵」を現実に落とし込むのは議会であり、市である。用地取得率 40%弱というが、計画段階から地元の方々のコンセンサスを得ながら巻き込んでいけば、用地取得も早まるのではないか。議員各位の尽力を期待している。</p> <p><b>Q:</b>「提案する議会」に賛成であり、2 月定例会において議員提案議案が 1 件のみというのは寂しい。地域づくり課ができて 1 億 8,000 万円の予算を有しているのは、町会の活性化をねらいとするものと理解しているが、町会は曲がり角にきている。朝日新聞の「自治会・町内会」の特集でも、町会を否定する意見が多かった。実際には、実世帯数と町会加入世帯数の乖離が拡大し、加入数を水増しして公に報告している。地域づくり課からの町会に対する報奨金・支援金は、地域や市の組織に奉納金として還流するという、わけのわからない実態があると感じる。若い人たちが町会に対してそっぽを向く傾向も蔓延しつつある。町会という共助の拠点を何とかしなければならない。議員が町会へ直接関与することは難しかろうが、地域づくり課という行政組織が関与している問題であるからには、チェック機能を果たしてほしい。</p> <p><b>A1:</b>松本市35地区に 491 町会があり、81,567 世帯が町会に加入、加入率は 79.6%である(平成27年度現在)。35 地区に地域づくりセンターが設置され、松本市地域力アップ提案協働事業交付金は、26 地区の様々な取り組みに計 714 万円が活用され、実践事例の報告会には 600 人が参加した。災害時に皆が安全に避難するためにも町会加入を促し、若い人を育てていきたい。</p> <p><b>A2:</b>ご発言いただいた実態を踏まえた地域づくりをしていかなければいけない。若い世代から町会加入のメリットを聞かれる。ゴミ出し不要なマンション住人は「町会と関わりをもたない」と言うが、防犯灯の設置・管理や、子どもたちの地域行事への参加などを例に挙げて、理解を求めていく必要がある。新規加入者町内公民館建設時の負担金や、高額な入会金を求めるのは、負担が大きい。不公平感はあるが、前向きに発想を変える必要もありそうだ。</p> <p><b>Q:</b> 議会と市民の会話が足りないと感じる。NTTビル 1 階（大名町）が借り手を求めているので、町の発展に役立ててはどうか。</p> <p><b>Q:</b> 地域づくり課が全町会長を対象に行ったアンケート調査の集計結果が、間もなく発表されることと思う。役員や仕事が多すぎる、入会金が高すぎるなど、町会に加入しない問題の答えがここにあると思うので、注目してほしい。</p>
その他	なし

松本市議会議長 様

平成 28 年 4 月 18 日

上記のとおり報告します。

報告者 大久保 真一 吉村 幸代